



ETK1945039A

CFJB40-U1CM
CFJB40-U4CM
工法書

ご使用の前に、この工法書を良くお読みの上、内容を理解してから、ご使用ください。
お読みになった後も、この工法書は大切に保管してください。

▽ 安全上のご注意 ～安全にご使用いただくために必ずお守りください～

この工法書には、人体への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご使用いただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次に示すとおりになっております。内容を良くご理解のうえ本文をお読みください。

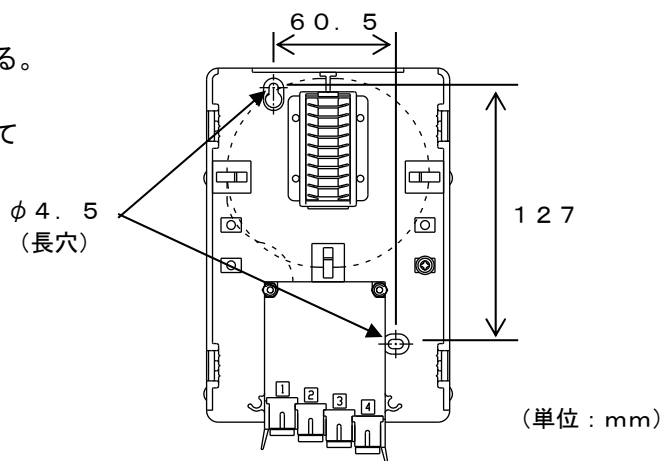
	本製品に関する安全上のご注意
⚠ 危険 右記内容を見逃して、誤った取り扱いを すると、人が死亡または重傷を負う可能性が極めて 高いことが想定されます。	—
⚠ 警告 右記内容を見逃して誤った取り扱いを すると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定され ます。	・ 壁面固定の際、落下などの無いように、確実に固定してください。 ・ 高所での施工時には、部品及び使用工具が落下しないようにご留 意ください。
⚠ 注意 右記内容を見逃して、誤った取り扱いを すると、人が損傷を負う可能性および、物的損害の可 能性が想定されます。	・ 刃物などのご使用時には十分に注意してください。 ・ 本品の組立には、本品以外の部品を使用しないでください。 ・ 締め付けトルクを規定した作業は、その規定を守って作業をして ください。接続部の機能低下及び破損の原因となります。
お願い 右記の内容を見逃して、誤った取り扱いを すると、本製品の性能を発揮出来ない可能性及び、機 能停止をまねく可能性が想定されます。	・ 光ファイバの配線は、許容曲げ半径 30 mm 以上をお守りくださ い。 ・ 融着作業は、ご使用の融着接続機の取扱説明書をご覧ください。

1. 壁面への固定

ケース本体を壁面にネジでしっかりと固定する。

※固定用のネジは添付されておりません。

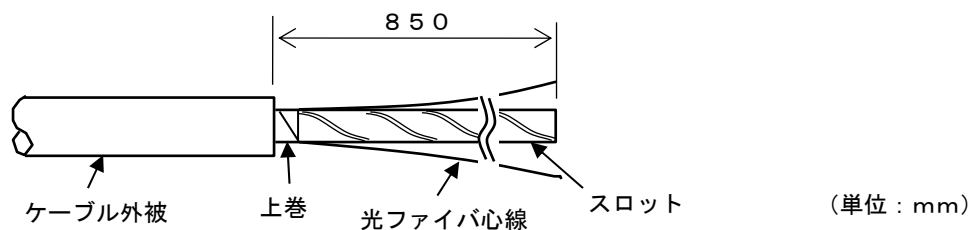
壁の強度や種類に合わせてネジを準備してください。



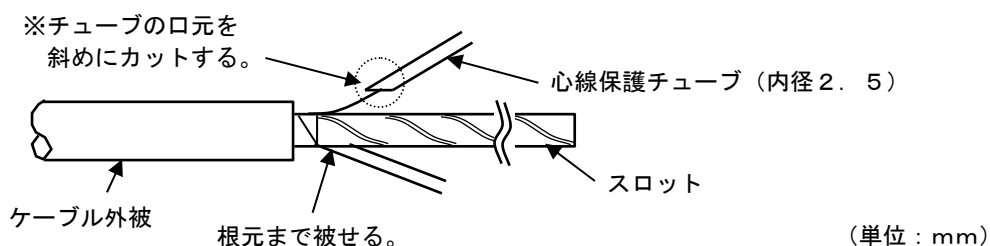
2. ケーブルの処理

＜スロットケーブルの場合＞

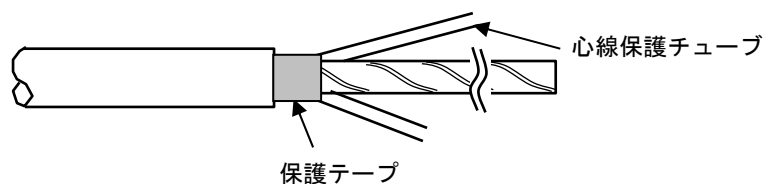
①ケーブル外被を剥ぎ取り、上巻を除去する。



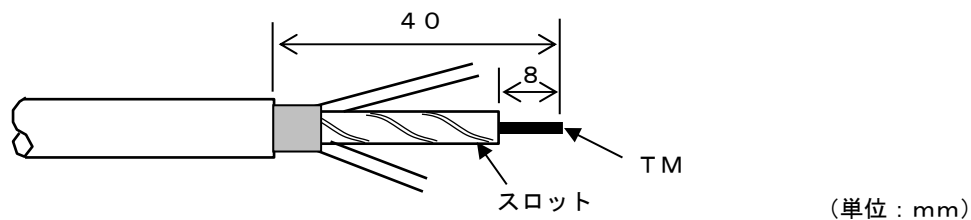
②スロット毎に心線に切断した心線保護チューブ（別途購入品）を被せる。



③心線保護チューブ上に保護テープ（別途購入品）を2回以上巻き付けて、チューブを固定する。



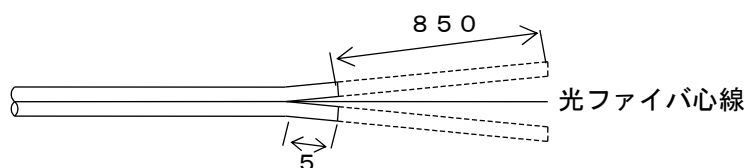
④スロットを切断し、テンションメンバ（以下TM）を口出しする。



＜ドロップ/インドアケーブルの場合＞

※ドロップ/インドアケーブルの導入にはオプション品のドロップ/インドアケーブル把持具が必要です。

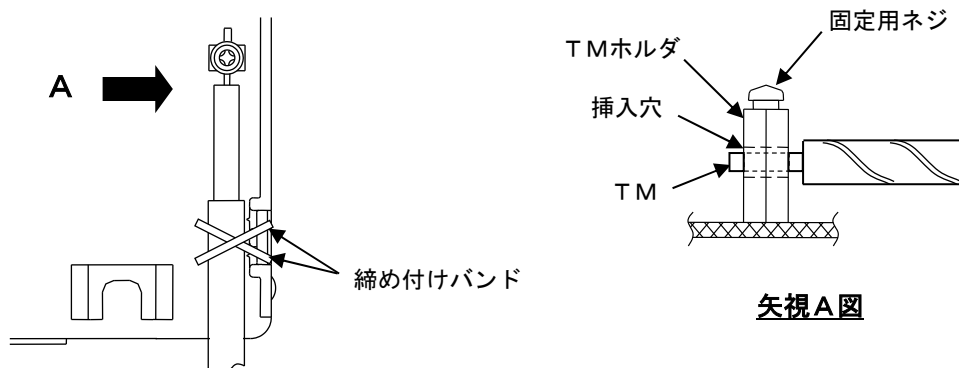
・下図を参考にケーブル外被を剥ぎ、先端を裂いてください。



3. ケーブルの固定

＜スロットケーブルの場合＞

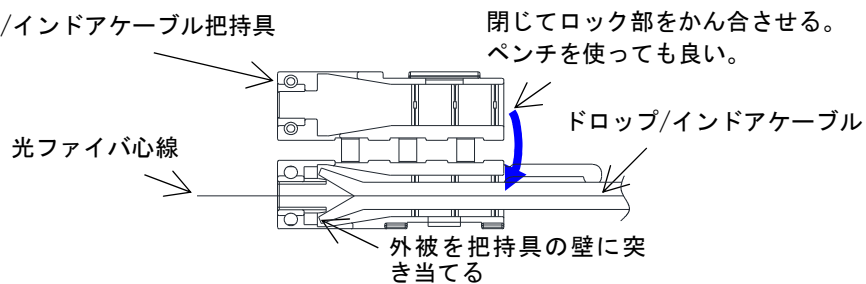
- ①TMホルダの挿入穴にTMを挿入し、固定用ネジを締めて固定する。
- ②ケーブル外被を添付の締め付けバンドで締め付ける。



＜ドロップ/インドアケーブルの場合＞

- ①インドア/ドロップケーブルをインドア／ドロップケーブル把持具（オプション品）にセットする。
- ②インドア/ドロップケーブル把持具を添付の締め付けバンドで締め付ける。

ドロップ/インドアケーブル把持具



4. 心線の接続・収納

①心線を接続する。

※接続機の取り扱いについては、ご使用の接続機の工法書に従ってください。

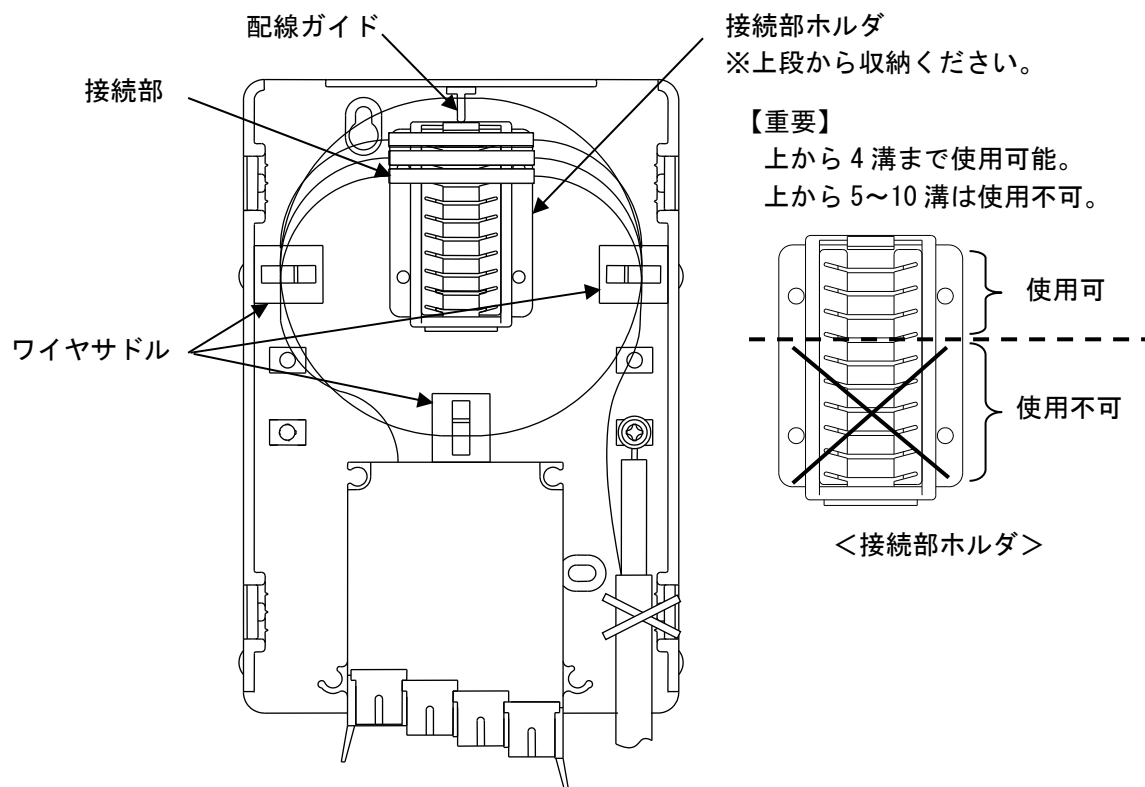
②接続部（融着補強スリーブ又はメカニカルスプライス）を「接続部ホルダ」に固定、余長を「配線ガイド」「ワイヤサドル」を使用し収納する。

※接続部は、4 (W) x 4 (H) x 40 (L) mm 以下のものを使用してください。

（注）融着補強スリーブ及びメカニカルスプライスは本製品には含みませんので別途ご用意ください。

※余長は極力撚りが入らないようにターンを取り収納してください。

※余長を収納する際は、曲げ半径30mm以下にならないように注意してください。

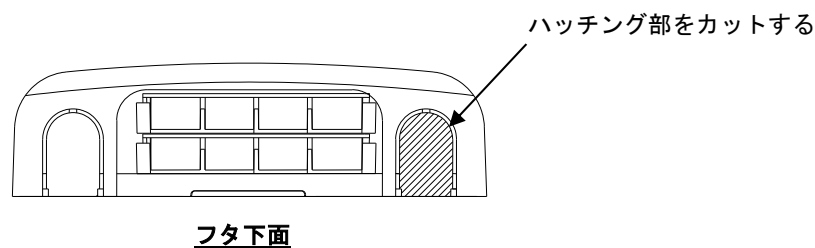


5. フタの加工・取り付け

フタ下面の右側ノックアウト（下図ハッチング部）をニッパー等でカットする。

* ノックアウト部のバリは出来るだけ綺麗に取り除いてください。

* フタを被せる際に心線を本体との間に挟み込まないように注意してください。



以 上